

学校祭を振り返って

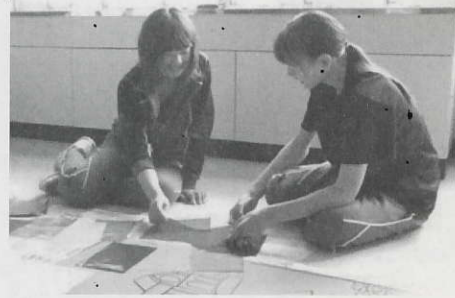
滝上中学校
3年 山本 彩夢

今年の滝上中学校第39回学校祭は9月23日でした。見に来てくれた町民の皆様、ありがとうございました。



今年度は全校生徒スローガン「Quality ~ be yourself no matter what they say ~」を目標に活動し、スローガン通りの質の良い楽しい学校祭にすることができました。

した。でも、そのような学校祭にするまでの間、実は色々なことがありました。



例えば、活動中の一人一人のやる気の差が大きく、まとまることのできませんでした。このくらいは頑張り度で良いと考える人、さらにもっと上を目指そうという人のギャップをどう埋めていくのかが問題でした。また、時には失敗することもありました。学校祭実行委員会では、毎日どうすれば良い活動ができるか反省を重ねてきました。各縦割りの活動や全校合唱活動では、リーダーが中心になって妥協せず、少しでも良いものを目指そうと頑張ってきました。

ました。全校生徒一人一人の気持ち活動が続けていくうちに、少しずつ少しずつ、一つにまとまり、最初はうまくいかなかったものも、最終には全校生徒全員でまとまることのできたと思います。私はご来場のみなさんからは見えないこのような経験があったからこそ、学校祭本番は素晴らしいものができたと思います。

来年も本校の学校祭を見に来て下さい。



第9回童話村通学合宿 生活日記



in 札久留公民館

今年度は日本各地が記録的な猛暑となりました。滝上も例外ではなく、特にお盆以降は長く続く残暑となりました。そんな中、8月22日～25日に

かけて札久留公民館を会場に「第9回童話村通学合宿」を実施しました。

参加者は町内の小学校に通う小学3～6年生の12名！男子、女子ともに6名ずつの参加です。

第8回までは7泊8日で行われていた通学合宿。実施時期を変更、期間を短縮して3年ぶりに復活となりました。

◆毎日おいしいご飯

まずは4日間生活する自分たちの寝床作り！布団を運びシーツをひいて…布団の並べ方は男女それぞれ。思い思いの自分たちの部屋を作っていました。その後はお楽しみ夕食の時間！いた



なしなどを競い合うように報告し自慢していました。

◆生活体験

通学合宿期間中、自分のことは自分で行うことも一つの目標です。学校の宿題などももちろん、食事の配膳や後片付けなども極力子どもたちが行います。また通学合宿では洗濯も自分達で行えるようにしています。設置してあるのは今は懐かしい二槽式！時間が限られていたので全員は出来ませんでした。プール道具などを洗濯しました。



◆プログラム

期間中、生活の合間を縫っていくつかのプログラムにチャレンジしました。

1日目は「ボン



バーファイター」。これは紋別地区の社会体育担当者が考案したニュースポーツ！夜なのに29℃もある体育館での熱戦の末、この日は女子チームが勝利を収めました。



2日目。この日の講師はオホーツク教育局の会田主査。コミュニケーショントレーニングを通じて思いやり

や自分の気持ちを伝えることの大切さを学びました。この時解決できなかった問題は最終日にクリアし、「会田主査に報告してね！」と嬉しそうにしました。



続いては「原始火起こし」！2日目に続きオホーツク教育局の佐藤社会教育主事を講師に、板と棒を使った火起こしを体験しました。男子も女子も協力して見事火起こしに成功！ついた火はその日の炭の火種として使

ました。

最終日は地元の「渚滑川の会」のみなさんによるバードウォッチング！



双眼鏡を手に公民館周辺を散策し、多くの鳥や草木を観察することができました。渚滑川の会のみなさんにはこの日の昼食もお願いし、おいしい豚汁をいただきました。

◆キーワードは「協力」

時間が経つにつれ自分たちのことも進んでやってくれていた子ども達。子ども達のアンケートには「みんなで仲良く協力して過ごせてよかった」と記されていました。子ども達にとつて心に残る通学合宿になったと思います。

3泊4日に渡る通学合宿も、地域の方々に支えられ無事終了。

ご協力いただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。



この後入浴し次の日の登校の準備をして就寝となりましたが、やはり1日目はなかなか寝付くことが出来なかったようです…。

◆もらい湯

この通学合宿はたんぽぽ会の皆さんをはじめ多くの地域の方々の協力で事業が実施されています。子ども達の入浴もその一つで、近隣のお宅で入浴させていただいています。今回も1日目、2日目に4軒のお宅にご協力をいただきました。子どもたちは帰ってくるなり、そのお宅でしていただいたおもて